



令和4年度 大分味一ねぎトレーニングファーム開校式 おいしい味一ねぎをつくりたい

4月25日(月)、J A味一ねぎパッケージセンターでトレーニングファームの開校式が行われ、研修生の吉田曜之さんと、奥田敏和さん、さゆりさん夫婦の3人が決意を新たにしました。3人は市特産の味一ねぎの栽培技術を学ぶために、最長2年間、実地や座学などの研修を受けます。「早く地域の人となじんで貢献したい」「長く農業を続けられるよう、体調管理をしながら頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。



「新田と放生会のさと〜わまを知ろう〜上下巻」完成 和間地区の歴史を知ってまちづくりを

4月25日(月)、和間地区まちづくり協議会発行の「新田と放生会のさと〜わまを知ろう〜上下巻」完成報告と贈呈式が行われました。4年がかりで集めた、和間地区のいわれや放生会、広瀬井路、和間小の歴史などを紹介しています。協議会は「この本をきっかけとして、地域の歴史を知ってもらうことで地域が活性化・発展し、次世代につなげていきたい」と話していました。この本は市民図書館で閲覧できます。



第20回 鰻絵花まつり

安心院町でたくさんの鰻絵を探してみよう

5月8日(日)、第20回鰻絵花まつりが開催されました。ドライブスタンプラリーや子どもシールラリーでは、台紙に指示されている鰻絵を全部見つけると、ぶどう券やスップドリンクなどの商品がもらえたり、ガチャくる号のガチャをひけたりしました。また、鰻絵作り体験、フットパスウォーキング、クロダマルコーヒーとクッキーの無料サービスもあり、参加者は鰻絵のまちを楽しんでいました。日出町の小学2年生宮崎一馬さんは「家の高い所や自分の目の高さの所に絵があるなんて知らなかった。宝探しみたいで楽しかった」と満喫していました。



じゃんけん大会で勝って、宝箱をもらおうぞ！

初めて鰻絵作りにチャレンジするよ！





LINE
アカウント名
@usacity_pr



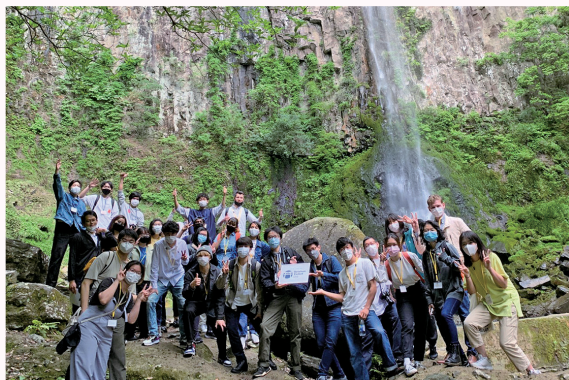
Twitter
アカウント名
@usacity_pr



Facebook
「宇佐市」で検索



Instagram
アカウント名
@usacity_pr



青春きっぷ in 宇佐（A P U留学生対象バスツアー）

留学生からみた宇佐の観光地

5月7日(土)、A P Uの学生団体 ループバス Loop.A.S と市が連携し、コロナ収束後の観光需要回復に向けて、インバウンド観光のPRと意見交換会が行われました。新緑の中、東椎屋の滝や安心院葡萄酒工房などを見学しました。意見交換会で留学生は「宇佐は素晴らしく、すてきな所。宇佐市への観光バスがあればさらに魅力的」と話すなど、空港や駅から観光地までの交通手段についての意見などがありました。



第16回 宇佐航空隊平和ウォーク

平和への思いがより深まりました

5月21日(土)、好天の中、宇佐航空隊平和ウォークが3年ぶりに行われました。約10kmのコースの中で柳ヶ浦小、駅館小、四日市北小、八幡小の児童が子どもガイドとして戦争遺構を案内しました。自作のパネルを使って分かりやすくハキハキと話す児童たちに、参加者からは大きな拍手が送られていました。児童たちは「平和のために私たちができることを考えていきたい」と感想を述べていました。

U S Aメダカフェス

初めて見る種類のメダカに興味津々

4月30日(土)、四日市門前広場でU S Aメダカフェスが開かれました。北は埼玉から南は沖縄まで各地のメダカの出店が集まり、たくさんの人でにぎわいました。出店では、初めて飼う人にメダカの飼育についての質問や相談にも丁寧に答えてくれていました。メダカすくいも行われ、家族の声援を受けながら、ポイが破れないように、お目当てのメダカを狙って慎重にすくいあげていました。



藤まつりウォーキング

風薫る藤棚の下で深呼吸

5月1日(日)、千財農園の藤園を巡る藤まつりウォーキング大会があり、市内外から77人が参加しました。さんさん館から響山公園を通り、千財農園で藤を楽しむ約7kmのウォーキングコースでした。風が少し吹いて日差しも照りつけないウォーキングに最適で心地よい、連休の中日を楽しんでいました。吉富町から友人に誘われて初めて参加した どうもとまさのり 堂本正則さんは「気候が良くて気持ちよかった」と話していました。

